

第27回 西アジア発掘調査報告会 プログラム

※発表者が複数の場合も1名(団長、会員)のみが記載されています。また、当日発表する方とは一致しない場合もあります。

発表順などは変更されることがあります。日本西アジア考古学会 検索
最新情報はウェブページでご確認ください。 http://jswaa.org

2020年 3月28日(土)

10:00-10:30 開場・受付
10:30-10:40 開会の辞

クルディスタンの調査

10:40-11:05 報告① 肥沃な三日月地帯東部の新石器化
—イラク・クルディスタン、スレマニ地域チャルモ遺跡の調査(2019)—
筑波大学人文社会系教授 常木 晃

11:05-11:30 報告② 新石器化と都市化のはざま
—イラク・クルディスタン、シャカル・テベ遺跡の第1次発掘調査(2019年)—
金沢大学国際文化資源学研究所研究センター特任准教授 小高 敬寛

11:30-11:55 報告③ アッシリア帝国東部辺境を掘る
—イラク・クルディスタン、ヤシン・テベ考古学プロジェクト・第4次(2019年)—
中部大学准教授 西山 伸一

11:55-13:00 昼食休憩 (65分)

レヴァントの調査

13:00-13:25 報告④ ホモ・サピエンスの拡散・定着期における文化動態
—南ヨルダン、カルハ山の旧石器遺跡調査(2019年)—
名古屋大学博物館講師 門脇 誠二

13:25-13:50 報告⑤ アナハラの歴史解明へ向けて
—イスラエル、テル・レヘシュ第12次発掘調査(2019年)—
東京文化財研究所文化遺産国際協力センターアソシエイトフェロー 間舎 裕生

13:50-14:15 報告⑥ レヴァント回廊の歴史を探究
—第5次(2019年)・フェニキアの港バトルン遺跡の発掘調査—
中部大学准教授 西山 伸一

14:15-14:30 休憩 (15分)

コーカサス、アナトリアの調査

14:30-14:55 報告⑦ 南コーカサス地方の新石器時代
—アゼルバイジャン第12次発掘調査(2019年)—
東京大学教授 西秋 良宏

14:55-15:20 報告⑧ 初期定住集落の姿を探る
—トルコ、ハッサンケイフ・ホック遺跡第6次調査(2019年)—
筑波大学人文社会系教授 三宅 裕

15:20-15:45 報告⑨ 中央アナトリアにおける銅石器時代解明へ向けて
—キュルテベ遺跡北トレンチ発掘調査2019年—
ノートルダム清心女子大学教授 紺谷 亮一

15:45-16:00 休憩 (15分)

中央アジアの調査(1)

16:00-16:25 報告⑩ 北ユーラシアの旧人・新人交替劇
—第7次ウズベキスタン旧石器遺跡調査(2019年)—
東京大学教授 西秋 良宏

16:25-16:50 報告⑪ 中央アジア初期農耕牧畜民の交流から東西交渉の始まりを探る—キルギス、モル・ブラク1遺跡(第3次)、ウズベキスタン、
ダルヴェルジン遺跡(第2次)の発掘調査(2019年)—
東京芸術大学特任講師 久米 正吾

16:50-17:15 報告⑫ シルクロードの交易都市を掘る
—キルギス共和国、アク・ベシム(スイヤブ)遺跡の発掘調査(2019)—
帝京大学文化財研究所教授 山内 和也

17:15-17:40 報告⑬ シルクロード天山北路の形成過程
—キルギス共和国、チュー・溪谷西部の考古学踏査(2018・2019年)—
奈良文化財研究所研究員 山藤 正敏

17:40 1日目終了

懇親会 3/28(土)18:00-20:00 ※どなたでも参加できます。場所は後日ご連絡します。

事前申込制:件名「3/28 懇親会参加」と明記し、お名前(ふりがな)をお知らせください。
申込先: E-mail: konshinkai@orientmuseum.com または Fax: 03-3590-3266
申込締切: 3/26 (木) ※準備の都合上、当日申込はできません。ご協力お願いいたします。
懇親会参加費: 一般 6,000円・学生 5,000円 (事前振込は1,000円割引)
※事前振込: 一般 5,000円・学生 4,000円。振込期日: 3/26 (木)
振込先: みずほ銀行 池袋支店 (店番号 230) 普通 2197205
西アジア発掘調査報告会 (ニシアジアハックツツチヨウサホウコクカイ)
※振込人名は申込者の名前をご記入ください。振込手数料はご負担いただきますようお願い申し上げます。※振込後の欠席の場合、参加費の返金はできません。

2020年 3月29日(日)

9:40-10:10 開場・受付

中央アジアの調査 (2)

10:10-10:35 報告⑭ アムダリヤ流域におけるクシャン期仏教遺跡の探査
—ウズベキスタン南部のズルマラ仏塔の調査(2019)—
立正大学特任講師 紺野 英二

10:35-11:00 報告⑮ シタデルを覆う火災層の調査
—ウズベキスタン、カフィル・カラ遺跡の発掘調査(2019年)—
北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター研究員 村上 智見

アラビア半島の調査

11:00-11:25 報告⑯ 古代ディルムン王国の起源を求めて
—ワーディー・アッ=サイル考古学プロジェクト2019—
東京文化財研究所研究員 安倍 雅史

11:25-11:50 報告⑰ シリア・バルミラ人の痕跡を求めて
—バハレン、マカバ古墳群第1号墳第四次調査2019—
奈良県立橿原考古学研究所技術アドバイザー 西藤 清秀

11:50-13:00 昼食休憩 (70分)

13:00-13:25 報告⑱ オマーン湾港町ディバの発掘
—アラブ首長国連邦ディバ遺跡第15~18次調査(2017~2019年)—
金沢大学名誉教授 佐々木 達夫

13:25-13:50 報告⑲ サウジアラビア紅海沿岸ハウラー遺跡の考古学調査(2018)
—中世の港町の構造を探る—
早稲田大学総合研究機構客員教授 長谷川 奏

エジプトの調査

13:50-14:15 報告⑳ 古代エジプトクフ王第2の船発掘・保存・組み立て復原
プロジェクト—エジプト・ギザ遺跡・2019年—
東日本国際大学教授 黒河内 宏昌

14:15-14:40 報告㉑ ギザのスフィンクス神殿における3D計測調査
—エジプト・ギザ遺跡・2019年度調査—
名古屋大学高等研究院准教授 河江 肖剰

14:40-15:00 休憩 (20分)

15:00-15:25 報告㉒ 紀元前2千年紀エジプトの葬制の変遷を探る
—ダハシュール北遺跡第26次調査(2019)—
東日本国際大学エジプト考古学研究所客員教授 矢澤 健

15:25-15:50 報告㉓ ネクロポリス・テーベ研究
—エジプト、ルクソール西岸アル=コーカ地区、第11次調査—
早稲田大学文学学術院教授・早稲田大学エジプト学研究所所長 近藤 二郎

15:50-16:15 報告㉔ エジプト、北サッカラ遺跡の未知の墓地を掘る:ローマ
時代のカタコンベの発見—エジプト、北サッカラ第4次・第5次調査(2019年)—
金沢大学・新学術創成研究機構教授 河合 望

16:15-16:40 報告㉕ 第3中間期の集落址・墓地
—エジプト・アコリス遺跡の調査2018—
首都大学東京客員研究員 花坂 哲

16:40 閉会の辞 16:45 閉会

ポスター展示 (3/28-29) 於:小会場706室

※口頭発表はありません。報告集(資料)には掲載されます。

ポスター① ヨルダン南部ジャフル盆地の遊牧化
—ハラアト・ジュハイラ2号遺跡の第6次補足調査(2019年)—
金沢大学特任教授 藤井 純夫

ポスター② ウム・カイスにおけるローマ帝国からビザンツ帝国への移行(その1)
—国士舘大学ヨルダン、ウム・カイス遺跡調査—
国士舘大学イラク古代文化研究所共同研究員 松本 健

ポスター③ アラビア半島の遊牧化
—ワーディー・グバイ遺跡群の第5次発掘調査(2019年)—
金沢大学特任教授 藤井 純夫

ポスター④ エジプト・デルタ地域における文化財保存の課題
—プハイラ地方コーム・アル=ディバーウ遺跡調査から—
早稲田大学総合研究機構客員教授 長谷川 奏

※706室では、学会書籍販売ほか、関連商品の販売をおこないます。

